安全にお使いいただくために必ずお守りください

お客様や他の人々への危害や財産への損害を未然に防ぎ、本製品を安全にお使いいただくために守っていただきたい事項を記載しました。
正しく使用するために、必ずお読みになり内容をよく理解された上で、お使いください。 なお、本書には弊社製品だけでなく、弊社製品を組み込んだパソコンシステム運用全般に関する注意事項も記載されています。
パソコンの故障／トラブルや、いかなるデータの消失・破損または、取り扱いを誤ったために生じた本製品の故障／トラブルは、弊社の保証対象には含まれません。 あらかじめご了承ください。

使用している表示と絵記号の意味

警告表示の意味

⚠ 警告	絶対に行ってはいけないことを記載しています。この表示の注意事項を守らないと、使用者が死亡または、重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
⚠ 注意	この表示の注意事項を守らないと、使用者がけがをしたり、物的損害の発生が考えられる内容を示しています。

絵記号の意味

△ ⃠ ● の中や近くに具体的な指示事項が描かれています。

△	警告・注意を促す内容を示します。(例：⚠ 感電注意)
⃠	してはいけない事項(禁止事項)を示します。(例：⃠ 分解禁止)
●	しなければならない行為を示します。(例：プラグをコンセントから抜く)

⚠ 警告

強制
本製品を取り付け、使用する際は、必ずパソコンメーカおよび周辺機器メーカが提示する警告や注意指示に従ってください。

分解禁止
本製品の分解・改造・修理を自分でしないでください。
火災・感電・故障の恐れがあります。また本製品のシールやカバーを取り外した場合、修理をお断りすることがあります。

禁止
AC100V(50/60Hz)以外のコンセントには、絶対に電源プラグを差し込まないでください。
海外などで異なる電圧で使用すると、ショートしたり、発煙、火災の恐れがあります。

強制
電源プラグは、コンセントに完全に差し込んでください。
差し込みが不完全なまま使用すると、ショートや発熱の原因となり、火災や感電の恐れがあります。

禁止
電源ケーブルを傷つけたり、加工、加熱、修復しないでください。
火災になったり、感電する恐れがあり、本製品の故障の原因ともなります。

- 設置時に、電源ケーブルを壁やラック(棚)などの間にはさみ込んだりしないでください。
- 重いものをのせたり、引っ張ったりしないでください。
- 熱器具を近付けたり、加熱しないでください。
- 電源ケーブルを抜くときは、必ずプラグを持って抜いてください。
- 極端に折り曲げないでください。
- 電源ケーブルを接続したまま、機器を移動しないでください。

万一、電源ケーブルが傷んだら、弊社サポートセンターまたは、お買い上げの販売店にご相談ください。

強制
電気製品の内部やケーブル、コネクタ類に小さなお子様の手が届かないように機器を配置してください。
さわってけがをする危険があります。

強制
小さなお子様が電気製品を使用する場合には、本製品の取り扱い方法を理解した大人の監視、指導のもとで行うようにしてください。

強制
濡れた手で本製品に触れないでください。
電源ケーブルがコンセントに接続されているときは、感電の原因となります。また、コンセントに接続されていなくても、本製品の故障の原因となります。

電源プラグを抜く
煙が出たり変な臭いや音がしたら、すぐにコンセントから電源プラグを抜いてください。
そのまま使用を続けると、ショートして火災になったり、感電する恐れがあります。
弊社サポートセンターまたは、お買い求めの販売店にご相談ください。

水場での使用禁止
風呂場など、水分や湿気が多い場所では、本製品を使用しないでください。
火災になったり、感電や故障する恐れがあります。

電源プラグを抜く
本製品を落としたり、強い衝撃を与えたりしないでください。与えてしまった場合はすぐにコンセントから電源プラグを抜いてください。
そのまま使用を続けると、ショートして火災になったり、感電する恐れがあります。弊社サポートセンターまたは、お買い求めの販売店にご相談ください。

電源プラグを抜く
本製品に液体をかけたり、異物を内部に入れたりしないでください。液体や異物が内部に入ってしまったら、すぐにコンセントから電源プラグを抜いてください。
そのまま使用を続けると、ショートして火災になったり、感電する恐れがあります。弊社サポートセンターまたは、お買い求めの販売店にご相談ください。

禁止
電源ケーブル(またはACアダプタ)、信号ケーブルは必ず本製品付属のものをお使いください。
本製品付属以外の電源ケーブル(内部接続用含む)、ACアダプタ、信号ケーブルをご使用になると、電圧や端子の極性が異なることがあるため、発煙、発火のおそれがあります。

強制
静電気による破損を防ぐため、本製品に触れる前に、身近な金属(ドアノブやアルミサッシなど)に手を触れて、身体の静電気を取り除いてください。
人体などからの静電気は、本製品を破損、またはデータを消失、破損させるおそれがあります。

強制
ラックへの取り付けや運用の際に落としたり転倒させたり、指をはさまないようご注意ください。
けがをする危険があります。

ハードディスクの破棄・譲渡・交換・修理時の注意

「削除」や「フォーマット」したハードディスク上のデータは、完全には消去されていません。お客様が、廃棄・譲渡・交換・修理等を行う際に、ハードディスク上の重要なデータが流出するというトラブルを回避するためには、ハードディスクに記録された全データを、お客様の責任において消去することが非常に重要となります。
ソフトウェアを削除することなくハードディスクやパソコンを譲渡すると、ソフトウェアライセンス使用許諾契約違反になることがありますので、ご注意ください。万一、 お客様の個人データが漏洩しトラブルが発生したとしましても、弊社はその責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
詳しくは、http://buffalo.melcoinc.co.jp/support_s/hddata.html をご覧ください。

TeraStationのデータを完全消去するには、TeraStationのディスク消去機能(※)を使用するか、専門業者に完全消去作業を依頼することをおすすめします。

※TeraStationの設定画面にて[ディスク管理]-[ディスク消去]-[ディスク消去を開始]を行うことで、TeraStationの全データ領域に「0」と「1」を交互に上書きする機能です。

GPL/LGPLライセンスについて

本製品は、GPL/LGPLの適用ソフトウェアを使用しており、これらのソフトウェアのソースコードの入手、改変、再配布の権利があることをお知らせします。オープンソースとしての性格上著作権による保証はなされておりませんが、本製品については保証書記載の条件により弊社による保証がなされています。

GPL/LGPLのライセンスについては、添付CD-ROM内 GNU_LICENSE.PDF をご覧下さい。

変更済みGPL対象モジュール、および再配布については、http://opensource.buffalo.jp/をご覧ください。

本製品について

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会(VCCI)の基準に基づくクラスA情報技術装置です。この装置を家庭環境で使用すると電波妨害を引き起こすことがあります。この場合には使用者が適切な対策を講ずるよう要求されることがあります。

万一、障害が発生したときは次の対策を行ってください。

・本製品とテレビやラジオの距離を離してみる。　・本製品とテレビやラジオの向きを変えてみる。

⚠ 注意

強制
パソコンおよび周辺機器の取り扱いは、各機器のマニュアルをよく読んで、各メーカの定める手順に従ってください。

禁止
次の場所には設置しないでください。感電、火災の原因となったり、製品やパソコンに悪影響を及ぼすことがあります。

- 強い磁界、静電気が発生するところ
- 温度、湿度がパソコンのマニュアルが定めた使用環境を超える、または結露するところ
- ほこりの多いところ　→故障の原因となります。
- 振動が発生するところ　→けが、故障、破損の原因となります。
- 平らでないところ　→転倒したり、落下して、けがや故障の原因となります。
- 直射日光が当たるところ　→故障や変形の原因となります。
- 火気の周辺、または熱気のこもるところ→故障や変形の原因となります。
- 漏電、漏水の危険があるところ　→故障や感電の原因となります。

強制
本製品の取り付け、取り外しや、ソフトウェアをインストールするときなど、お使いのパソコン環境を少しでも変更するときは、変更前に必ずパソコン内(ハードディスク等)のすべてのデータをMOディスク、フロッピーディスク等にバックアップしてください。
誤った使い方をしたり、故障などが発生してデータが消失、破損したときなど、バックアップがあれば被害を最小限に抑えることができます。

バックアップの作成を怠ったために、データを消失、破損した場合、弊社はその責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

強制
ハードディスク内のデータは、必ず他のメディア(MOディスク、CD-R/RW、DVD等)にバックアップしてください。
とくに、修復、再現できない重要なデータは、オリジナルの更新前、更新後と、常に二重のバックアップを作成されることをおすすめします。次のような場合に、データが消失、破損する恐れがあります。
・誤った使い方をしたとき
・静電気や電気的ノイズの影響を受けたとき
・故障、修理などのとき
・天災による被害を受けたとき
上記の場合に限らずバックアップの作成を怠ったために、データを消失、破損した場合、弊社はその責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

強制
各接続コネクタのチリやほこり等は、取りのぞいてください。また、各接続コネクタには手を触れないでください。
故障の原因となります。

禁止
本製品の上に物を置かないでください。
傷がついたり、故障の原因となります。

禁止
シンナーやベンジン等の有機溶剤で、本製品を拭かないでください。
本製品の汚れは、乾いたきれいな布で拭いてください。汚れがひどい場合は、きれいな布に中性洗剤を含ませ、かたくしぼってから拭き取ってください。

禁止
本製品へのアクセス中は、本製品から電源ケーブルを抜いたり、電源スイッチをOFFにしないでください。
データが消失、破損する恐れがあります。

強制
本製品を廃棄するときは、地方自治体の条例に従ってください。
条例の内容については、各地方自治体にお問い合わせください。

TeraStation導入マニュアル
2008年7月16日 初版発行
発行　株式会社バッファロー

BUFFALO 35010509 ver.01 1-01 C10-012

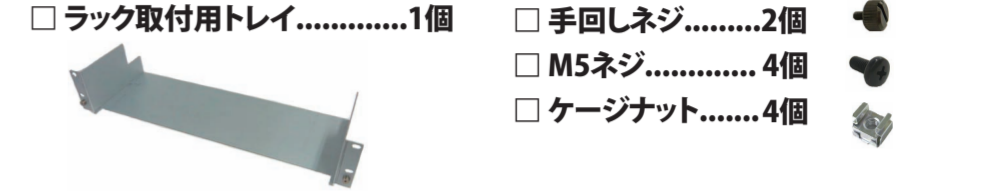
※本書ではTeraStation PROをTeraStationと表記しています。

TeraStation 導入マニュアル -はじめにお読みください-

このたびは、本製品をご利用いただき、誠にありがとうございます。本製品を正しく使用するために、はじめにこのマニュアルをお読みください。お読みになった後は、大切に保管してください。

ステップ1 梱包物の確認

不足しているものがありましたら、お買い求めの販売店にご連絡ください。
確認した項目には ✓を付けてください。なお、製品の形状はイラストと異なる場合があります。

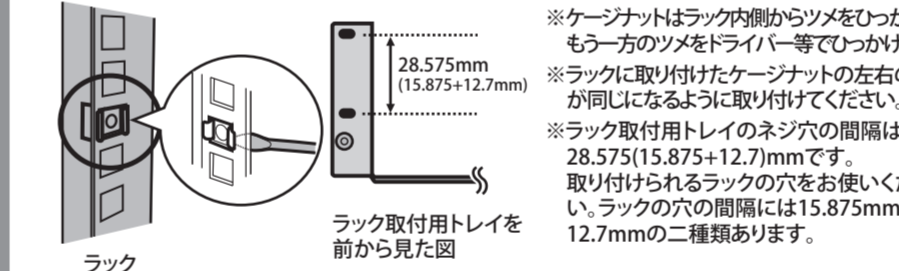
- ☐ TeraStation本体............ 1台
- ☐ 3極-2極変換アダプタ........ 1個
  ※ACコンセントが2極の場合にお使いください。
- ☐ ユーティリティCD............. 1枚
- ☐ TeraStation活用ガイド.... 1冊
- ☑ TeraStation導入マニュアル...1枚
- ☐ ACケーブル..................... 1本
- ☐ 前面カバー開閉用鍵........ 2個
  ※鍵は紛失しないよう大切に保管してください。
- ☐ LANケーブル.................. 1本
- ☐ 保証書............................ 1枚
- ☐ ラック取付用トレイ............1個
- ☐ 手回しネジ.........2個
- ☐ M5ネジ............ 4個
- ☐ ケージナット....... 4個

※本製品の修理をご依頼頂く場合に必要となりますので、大切に保管してください。保証書には、シリアルNoが記載されています。
※別紙で追加情報が同梱されているときは、必ず参照してください。

ステップ2 TeraStationの設置

ご注意ください

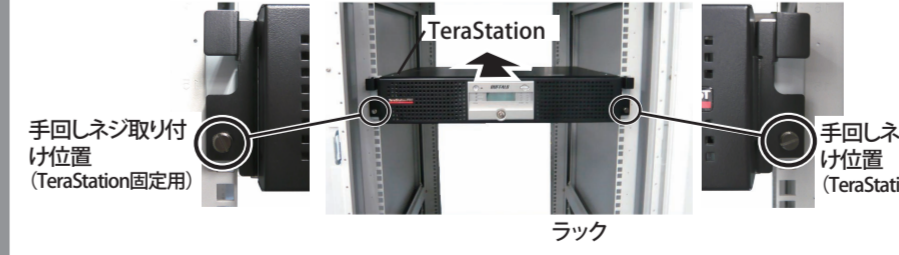
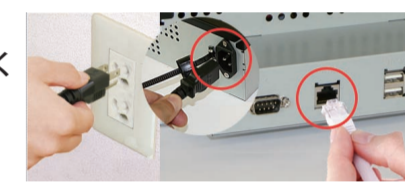
取り付ける前に、以下の点にご注意ください。
・ラックの説明書をよく読み、転倒しないよう十分気をつけてください。
・ラックやTeraStationの上には物を載せないでください。
・TeraStationは精密な機器です。落としたり衝撃を与えないよう慎重に作業を行なってください。
・TeraStationは約10kgの重量があります。落としてけがすることがないよう慎重に作業を行なってください。
・金属部分で手をけがしないよう慎重に作業を行なってください。
・「安全にお使いいただくために必ずお守りください」の指示に必ずしたがってください。
・TeraStationの動作時に周辺の動作環境が、温度5～35℃、湿度20～80%を保てる場所に設置してください。
・TeraStation前面および背面は通風孔になっています。障害物などでふさがないようご注意ください。

1 取り付けるラックにネジ穴が無いタイプ(四角い取り付け穴がある)の時は、付属のケージナットをラックの取り付け穴(左右)に取り付けます。

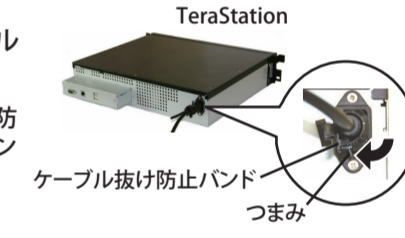
※ケージナットはラック内側からツメをひっかけて、もう一方のツメをドライバー等でひっかけます。
※ラックに取り付けたケージナットの左右の高さが同じになるように取り付けてください。
※ラック取付用トレイのネジ穴の間隔は28.575(15.875+12.7)mmです。取り付けられるラックの穴をお使いください。ラックの穴の間隔には15.875mmと12.7mmの二種類あります。

2 ラック取付用トレイを、付属のM5ネジでラックに固定します。

※ラック取付用トレイのネジ穴左右各2箇所にをM5ネジでラックに固定します。
※対応のラックはEIA規格に準拠の19型ラックです。TeraStationは2U分のスペースを使用します。
※ネジの固定には、プラスドライバーが必要です。

3 付属の手回しネジでトレイにTeraStationを固定します。

TeraStation
手回しネジ取り付け位置(TeraStation固定用)
手回しネジ取り付け位置(TeraStation固定用)
ラック

4 ACケーブルをTeraStation背面の電源コネクタに接続した後、コンセントに取り付けてください。また製品添付のLANケーブルをTerastation背面のLANポートに接続してください。

注意
ACコンセントが2極の場合、付属の3極-2極変換アダプタをお使いください。3極-2極変換アダプタのアース線は電源プラグをつなぐ前に接続し、外すときは電源プラグを抜いてから外してください。
また、アース線がコンセントや他の電極に接触しないよう確実にアース口に接続してください。

ACケーブルは、写真のように背面のケーブル抜け防止バンドで固定することができます。

※ACケーブルを取り外すときは、ケーブル抜け防止バンドのつまみを下方に引っ張りながらバンドをはずしてください。

5 TeraStationに接続したLANケーブルのもう一方の端を、パソコンやネットワークハブ(ルータ)などに接続してください。

6 TeraStation前面の電源スイッチを押してください。電源ランプが消灯状態から点滅に変わり、約2分で点灯に変わります。

注意
TeraStationの電源をOFFにするときは、次のいずれかの手順で行ってください。
・TeraStation前面の電源スイッチを2秒間押し続ける。
・TeraStationの設定画面で[メンテナンス]-[シャットダウン]-[シャットダウン実行]をクリックする。
上記手順を守らずに、電源がONの状態のまま、ACケーブルを取り外すとTraStationが故障するおそれがあります。

7 TeraStation前面のLINK/ACTランプが緑色に点灯していることを確認してください。

以上で取り付けは完了です。

次ページへつづく

前ページからのつづき

ステップ3 最初のセットアップ(1台目のパソコン)

DHCPサーバが設定されている環境では、本製品をネットワーク接続して電源スイッチをONにするだけで使用することができます(必ず電源スイッチをONにするより先に、ルータとTeraStationをLANケーブルで接続してください)。ただしこの場合、日時設定、ワークグループ設定、ネットワークドライブ割り当て等が設定されておりません。これらを自動設定する下記の手順を行うことをおすすめします。

1 ユーティリティCDをパソコンにセットします。

TeraNavigatorが起動します。

※画面の色数は［High Color(16ビット)］以上に設定しておいてください。
256色以下では、「TeraNavigator」の画面が正しく表示されません。

※Windows Vistaをお使いの場合、自動再生の画面が表示されたら、[TSNavi.exeの実行]をクリックしてください。また、「プログラムを続行するにはあなたの許可が必要です」と表示されたら、[続行]をクリックしてください。

注意

ウィルス対策ソフトやOSのファイアウォール機能が有効に設定されている場合、本製品をセットアップする前に必ず無効にしてください。有効に設定されていると、本製品をセットアップできないことがあります。設定方法は、各ソフトウェアのマニュアルを参照してください。セットアップ後に、ファイアウォール機能の設定を元に戻してください。

以下の手順はWindows Vista/XP/2000/Me/98SE/98、Windows Server2003のものです。
※Mac OS X 10.3以降をお使いの場合、ユーティリティCD内の[TeraNavigator]アイコンをダブルクリックし、TeraNavigatorの表示にしたがってセットアップしてください。
※Windows 95/NT4.0、Mac OS X 10.2以前では、TeraNavigatorでセットアップすることはできません。

2 セットアップを実行します。

［かんたんスタート］をクリックします。

※Windowsでこの画面が表示されないときは?
ユーティリティCD内に収録されている アイコン(TSNavi.exe)をダブルクリックしてください。

3 [TeraStationのセットアップ]をクリックします。

4 以降は、画面の指示にしたがってTeraStationのセットアップをしてください。

※ディスクの構成について
ディスクの構成には5つの方法があります。画面の指示にしたがって選択をしてください。

RAID5モード(工場出荷時)

TeraStationに内蔵されている4台のハードディスクを1つのアレイとして使用します。ドライブ1台分のパリティデータを保存しているので、ハードディスクが1台故障しても新しいハードディスクに交換してデータを復旧することができます(2台以上故障した場合復旧できません)。

RAID10モード

TeraStationに内蔵されている4台のハードディスクを1つのアレイとして使用します。分散して書き込みを行うのでアクセス速度が少し速くなります。同じデータを2個のハードディスクに同時に書き込んでいるので、ペア(1-2または3-4)を構成する一方のハードディスクが破損してもハードディスクを交換すればデータを復旧できます(1-2、または3-4両方破損した場合はデータを復旧することはできません)。

RAID1モード

TeraStationに内蔵されている4台のハードディスクを2つのアレイとして使用します。RAID1では、2台のハードディスクをペアにして、それぞれのハードディスクに同じデータを書き込みます。ペア(1-2または3-4)を構成する一方のハードディスクが破損してもハードディスクを交換すればデータを復旧できます(1-2、または3-4両方破損した場合はデータを復旧することはできません)。

RAID0モード

TeraStationに内蔵されている4台のハードディスクを1つのアレイとして使用します。使用できる容量は、ハードディスク4 台分の容量となります。分散して書き込みを行うのでアクセス速度が少し速くなります。ハードディスクが破損した場合、データを復旧することはできません。

通常モード

TeraStationに内蔵されている4台のハードディスクを4つドライブとして使用したいときに選択ください。

※RAID構築中はファイル転送速度が数時間(容量が1TBの場合、約6時間かかります)低下しています。前面液晶ディスプレイに「RAID ARRAY Resyncing」と表示されているときは電源をOFFにしないでください。

※各モードで使用できるハードディスク容量は、次のとおりです(画面に表示される容量は1kbytes=1024bytesで計算しているため、本紙記載の容量と異なります)。

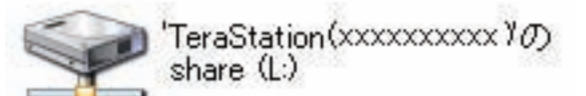
モード	モデル			
	TS-RH4.0TGL/R5	TS-RH3.0TGL/R5	TS-RH2.0TGL/R5	TS-RH1.0TGL/R5
RAID5	3TB	2.25TB	1.5TB	750GB
RAID10	2TB	1.5TB	1.0TB	500GB
RAID1	1TB×2	750GB×2	500GB×2	250GB×2
RAID0	4.0TB	3.0TB	2.0TB	1.0TB
通常	1TB×4	750GB×4	500GB×4	250GB×4

使用モードを設定または変更すると、ハードディスクの内容はすべてフォーマットされます。重要なデータが保存されている場合は、使用モードを変更する前にバックアップしてください。

※セットアップモードの選択画面では、[初回セットアップ]を選択してください。
※TeraNavigatorで自動設定された内容は、デスクトップにテキストファイルとして保存されます。
※管理者(admin)のパスワードについて
パスワード入力画面では、次の事項のご注意ください。
・出荷時設定ではパスワードはpassword と設定されています。
・パスワードに使用できる最大文字数は半角英数20文字までです。
Windows 98SE/98をお使いの方は15文字以上にしないでください。Mac OSをお使いの方は9文字以上にしないでください。TeraStationの共有フォルダにアクセスできなくなります。
※出荷時設定では次のように設定されています。設定はセットアップ後に変更することもできます。詳しくは付属のCDに収録されているTeraStation設定ガイドをお読みください。
ハードディスク使用モード：RAID5モード　IPアドレス：DHCPクライアント
TeraStation名：TS-RHTGLxxx
(下線部はTeraStationのMACアドレス末尾3桁です。お使いの製品によって異なります。)
管理者(admin)パスワード：password

5 「設定完了です」と表示されたら[次へ]をクリックします。

6 Windowsでは、[コンピュータ（またはマイコンピュータ]の中に、ネットワークドライブアイコンが追加されています。

ネットワーク ドライブ

※画面はWindows XPの例です。

以上でセットアップは完了です。
ネットワークドライブとして追加されたTeraStationは、他のハードディスクと同じようにファイルの保存先としてお使いください。

TeraStationを設定(RAIDモードの変更、アクセス制限、TeraStationのデータのバックアップ、フォーマット、パスワードの変更など)したいときは、付属のユーティリティCDに収録されている「TeraStation設定ガイド」をお読みください。

※TeraStationは、最新のファームウェアで使用することをおすすめします。最新のファームウェアは、弊社ホームページ(buffalo.jp)からダウンロードすることができます。お使いのTeraStationのファームウェアバージョンは、NAS Navigator2メイン画面に表示されています。

TeraStationのデータのバックアップをおすすめします

TeraStationを使用していると、突然の事故、ハードディスクの故障や誤操作で大切なデータを失ってしまう可能性があります。そのようなときに、データを元に戻したり、被害を最小限に抑えるために、データのバックアップをとっておくことが大切です。
バックアップ先には弊社製大容量ハードディスク(TeraStation/LinkStation、およびUSB接続外付ハードディスク)をお使いください。
TeraStationのデータのバックアップは、TeraStationの設定画面から行うことができます。
バックアップ手順については、画面で見るマニュアル「TeraStation設定ガイド」をご参照ください。

2台目以降のパソコンで使用する方へ

2台目以降のパソコンで使用するには、付属のユーティリティCDをパソコンにセットし、次の手順でネットワークドライブとして割り当て、ファイルの保存先としてお使いください。

［パソコンのセットアップ］をクリック

下段に続く

［マイコンピュータ］の中に共有フォルダが割り当てられています。
※画面はWindows XPの例です。

※ネットワークドライブのアイコンが追加されない(TeraStationが認識されない)ときは、付属のユーティリティCDに収録されている「TeraStation設定ガイド」をお読みください。

※上記に記載の手順は、Windows Vista/XP/2000/Me/98SE/98、Windows Server 2003のものです。Windows 95/NT4.0、Mac OSをお使いの方は、付属のユーティリティCDに収録されているTeraStation設定ガイドを参照してください。

※Windows Vistaをお使いの場合、自動再生の画面が表示されたら、[TSNavi.exeの実行]をクリックしてください。また、「プログラムを続行するにはあなたの許可が必要です」と表示されたら、[続行]をクリックしてください。

TeraStationの内蔵ハードディスク内「info」フォルダの中には、ユーティリティCDに収録されているマニュアルやNAS Navigator2、簡単バックアップのインストールプログラムが収録されています。ネットワーク内のパソコンでマニュアルを読みたいとき、ユーティリティを使いたいときにインストールしてお使いください。

[info]フォルダ
- [manual]フォルダ - manual.pdf........... TeraStation設定ガイド(PDFファイル)を読むことができます。ユーティリティCDに収録されているマニュアルより新しい(記述を変更している)ことがあります。あらかじめご了承ください。
- [NASNavi2]フォルダ - Inst.exe................ NAS Navigator2をインストールできます。使いかたについてはTeraStation設定ガイドを参照してください。
- [HdBackup]フォルダ - Inst.exe.................簡単バックアップをインストールできます。使いかたについては簡単バックアップの使いかた(PDFファイル)を参照してください。
  - Hdbackup.pdf......簡単バックアップの使いかた(PDFファイル)が書かれています。PDFファイルを見るにはAcrobatReaderがインストールしてある必要があります。
- [lmcmchg]フォルダ - Inst.exe.................ファイル共有セキュリティレベル変更ツールをインストールできます。使い方についてはTeraStation設定ガイドを参照してください。
- [nascfgsr]フォルダ - nascfgsr_ins.exe..NAS設定保存・復元ツールをインストールできます。使いかたについてはNAS設定保存・復元ツールの使いかた(PDFファイル)を参照してください。
  - nascfgsr.pdf.........NAS設定保存・復元ツールの使いかた(PDFファイル)が書かれています。PDFファイルを見るにはAcrobatReaderがインストールしてある必要があります。

ソフトウェアのご紹介

付属のユーティリティCD(TeraNavigator)では、次のソフトウェアやマニュアルをインストールすることができます。

セットアップ中に表示される選択画面でソフトウェアを選んでインストールします(TeraNavigatorの[オプション]をクリックし、画面の指示にしたがってインストールすることもできます)。

BUFFALO NAS Navigator2

TeraStationの設定画面の表示や、ネットワークからTeraStationを検索するためにNAS Navigator2が必須です。
TeraNavigatorの[かんたんスタート]をクリックしてセットアップすると、必ずインストールされます。
※Windows 95/NT4.0、Mac OS X 10.2以前のMacOSではインストールできません。

トップ画面

ファイル共有セキュリティレベル変更ツール

TeraStationの設定画面で「認証サーバ連携機能を利用したアクセス制限」を設定するときは、Windows VistaおよびWindows Server2003のセキュリティを変更する必要があります。[スタート]-[BUFFALO]-[ファイル共有セキュリティレベル変更ツール]-[ファイル共有セキュリティレベル変更ツール]で「ファイル共有のセキュリティレベルを変更する」を選択すると変更することができます(元に戻すときは、「元に戻す」を選択します)。
※Windows Vista、Windows Server2003のみインストールされます。
※初期セットアップ中、「セキュリティレベルを変更します。よろしいですか?」と表示されます。[はい]をクリックしたときは、画面の指示にしたがってパソコンを再起動してください。

簡単バックアップ

パソコンのデータをTeraStationにバックアップしたいときに便利なユーティリティです。使いかたについてはセットアップ後に、[(すべての)プログラム]-[BUFFALO]-[簡単バックアップ]-[簡単バックアップ マニュアル]をご参照ください。
※Windows 95/NT4.0、Windows Server 2003、Mac OSでは使用できません。
※TeraStationのデータをバックアップしたいときは、TeraStationの設定画面で行います。

NAS設定保存・復元ツール

TeraStationの設定情報を、ネットワーク経由でパソコンに設定ファイル(nas_configファイル)として保存し、必要な場合に復元することができるソフトウェアです。使いかたについてはセットアップ後に、[(すべての)プログラム]-[BUFFALO]-[NAS設定保存・復元ツール]-[NAS設定保存・復元ツールマニュアル]をご参照ください。
※Windows Me/98SE/98/95/NT4.0、Windows Server 2003、Mac OSでは使用できません。
※NAS設定保存・復元ツールでは、TeraStationの共有フォルダ内のデータは保存されません。

TeraStation設定ガイド

TeraStation 設定ガイド(PDFファイル)を読むためのショートカットアイコンをデスクトップにコピーします。本製品の制限事項や設定手順が記載されています。

Adobe Reader(またはAcrobat Reader)

パソコンにPDFファイル(マニュアル)を読むソフトウェアや機能がないときは、Adobe Reader(またはAcrobat Reader)をインストールしてください。使いかたについてはAdobe Reader(またはAcrobat Reader)のヘルプを参照してください。

※インストールしたソフトウェアを削除するには、TeraNavigatorの[オプション]-[ソフトウェアの削除]をクリックしてください。以降は画面のメッセージにしたがって操作します。

製品仕様

最新の製品情報や対応機種については、カタログまたはインターネットホームページ（buffalo.jp）を参照してください。

項目		仕様
インターフェース(LANポート)		インターフェース：IEEE802.3ab準拠(1000BASE-T)、IEEE802.3u準拠(100BASE-TX)、IEEE802.3準拠(10BASE-T) 伝送速度：1000Mbps全二重(自動認識)、100Mbps全二重/半二重(自動認識)、10Mbps全二重/半二重(自動認識) ポート数：1ポート（AUTO-MDIX対応） コネクタ形状：RJ-45型 8極 アクセス方式：CSMA/CD方式 対応プロトコル：TCP/IP、AppleTalk 対応ネットワークファイルシステム：SMB/CIFS、AFP、FTP Jumbo Frameフレーム長：1,518/4,102/7,422/9,694 Bytes（ヘッダ14Bytes+FCS 4Bytes含む）
インターフェース(USBポート)		インターフェース：USB規格Revision2.0 データ転送速度：最大480Mbps(理論値) コネクタ：USBコネクタ(シリーズA)×2 対応USB機器(USBハブやリムーバブル機器の接続には対応しておりません。) ・弊社製USB接続ハードディスク ※対応ハードディスク製品名は弊社ホームページに記載しています。ハードディスクを購入前にあらかじめご確認ください。 ※DUB/DIUシリーズ、3TB以上のHD-QSSU2/R5シリーズは非対応です。 ※ハードディスクの接続は2台までです。 ※第1パーティション(領域)のみ認識されます。第2パーティション以降は認識できません。 ※TeraStationにHD-DU2シリーズを接続して使用すると、HD-DU2シリーズのダイレクトコピー機能を使用できません。ダイレクトコピー機能を使用したいときは、HD-DU2シリーズをパソコンに接続し、HD-DU2シリーズ付属のフォーマッタでフォーマットしてください。 ・対応USB接続UPS：オムロン社製UPS、APC社製UPS ※対応UPS製品名は弊社ホームページに記載しています。また、オムロン社ホームページの各製品ページにも記載があります。UPSを購入前にあらかじめご確認ください。
インターフェース(UPSポート)		インターフェース：UPS専用ポート(D-SUB 9ピン(オス))×1 対応UPS：オムロン社製UPS、APC社製UPS ※対応UPS製品名は弊社ホームページに記載しています。また、オムロン社ホームページの各製品ページにも記載があります。UPSを購入前にあらかじめご確認ください。
内蔵ハードディスク		ディスクの構成：出荷時にRAID5モードに設定済み ※別売交換ハードディスク(TS-RHTGL/HTGLシリーズ用) TeraStationのハードディスクが故障した場合は、下記のハードディスクに交換ください。交換手順については、TeraStation活用ガイドをお読みください。 TS-RH1.0TGL/R5対応：TS-OPHD-H1.0TGL TS-RH2.0TGL/R5対応：TS-OPHD-H2.0TGL TS-RH3.0TGL/R5対応：TS-OPHD-H3.0TGL TS-RH4.0TGL/R5対応：TS-OPHD-H4.0TGL
電源		AC100V 50/60Hz
消費電力		約57W(平均)
外形寸法		W430×H85×D423mm（突起部を除く）
重量		約10kg
動作環境		温度5～35℃、湿度20～80%(結露なきこと)
対応機種	対応パソコン	DOS/V(OADG仕様)対応パソコン、NEC PC98-NX(Windows 95以降)、Apple Macintoshシリーズ ※LANインターフェースを搭載していること。 ※パソコンとはLAN接続になり、USB接続はできません。
	対応OS	Windows Vista/XP/2000、Windows Server2003、Windows Me(注)/98SE(注)/98(注)/95(注)/NT4.0(注)、Mac OS X 10.3～10.3.9、10.4～、Mac OS X 10.2～10.2.8(注)、10.0.4～10.1.5(注)/Mac OS 8.6～9.2.2(注) 注：容量が3.0TB以上あるTeraStationの対応OSは、Windows Vista/XP/2000/Windows Server2003、Mac OS X 10.3以降のみです。

画面で見るマニュアルの読みかた「TeraStation設定ガイド」

ユーティリティCDをパソコンにセットし、自動的に起動した画面(TeraNavigator)で、［マニュアルを読む］をクリックしてください。TeraStation設定ガイド(PDFファイル)が表示されます。

※パソコンにPDFファイル(マニュアル)を読むソフトウェアや機能がないときは、左記「ソフトウェアのご紹介」のAdobe Reader(またはAcrobat Reader)をインストールしてください。
※Windows Vistaをお使いの場合、「このプログラムには既知の互換性の問題があります。」と表示されることがあります。このようなときは、[プログラムを実行する]をクリックしてください。
※最新のAcrobat Readerは、http://www.adobe.com/jp/でダウンロードすることができます。お使いのOSに対応した最新バージョンでの使用をおすすめします。
※Mac OSをお使いの場合、ユーティリティCDに収録されている[manual]アイコンダブルクリックしてください。TeraStation設定ガイドが表示されます。
Mac OS 8.6～9.2.2では、Acrobat Readerがインストールされていないとファイルが表示できないことがあります。このようなときは、[Acrobat Reader]アイコンをダブルクリックし、インストールしてください。

セットアップできないときは

TeraNavigatorでセットアップできないとき、セットアップしてもTeraStationが使用できないときは、付属のユーティリティCDに収録されている「TeraStation設定ガイド」をお読みください。代表的な現象と原因を以下に記載します。

現象：初期設定中に、「TeraStationが見つかりませんでした」「接続可能なTeraStationはありません」「設定を完了できません」と表示される。

原因1. LANケーブルが接続されていない
電源ケーブルとLANケーブルを接続し直し、再度TeraStationの電源スイッチをONにしてください。

原因2. ファイアウォール機能が有効となっている、常駐ソフトがインストールされている
ファイアウォール機能を無効にする、またはファイアウォール機能が有効となっているソフトをアンインストールして再度検索をお試しください。

原因3. 無線、有線アダプタがそれぞれ有効になっている
TeraStationに接続するためのLANアダプタ以外を無効にしてください。

原因4. LANケーブルの不良、または接続が不安定になっている
接続するハブのポートやLANケーブルを変更してお使いください。

原因5. お使いのLANボード/カード/アダプタが故障している
LANボード/カード/アダプタを変更してお使いください。

原因6. お使いのLANボードやハブの伝送モードが設定されていない
LANボードやハブ側で伝送モードを[10M 半二重]または[100M 半二重]に変更してください。
LANボードやハブによっては、伝送モードが[Auto Negotiation]（自動認識）に設定されていると、ネットワークに正しく接続できないことがあります。

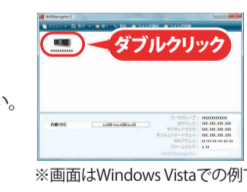
原因7. ネットワークブリッジが存在する
使用していないネットワークブリッジが構成されている場合は、削除してください。

原因8. 異なるネットワークから検索を行っている
ネットワークセグメントを超えて検索を行うことはできません。検索するパソコンと同一のセグメントにTeraStationを接続してください。

原因9. TCP/IPが正しく動作していない
LANアダプタのドライバを再インストールしてください。

原因10. セットアップが２回目以降である(すでに一度セットアップを行っている)。
製品の初期化スイッチで初期化を行ってください。初期化につきましてはユーティリティCDに収録されているTeraStation設定ガイドをご参照ください。

TeraStationのフォルダが突然開かなくなってしまったときは

お使いのネットワーク環境によっては、IPアドレスが変更されたり、ワークグループが変更されたときなど、突然TeraStationにアクセスできなくなってしまうことがあります。このようなときは、次の手順で共有フォルダを開いてください。

1 [スタート]-[(すべての)プログラム]-[BUFFALO]-[BUFFALO NAS Navigator]-[BUFFALO NAS Navigator2]をクリックします。
NAS Navigator2が起動します。
※Mac OSでは、デスクトップの[NAS Navigator2]アイコンをダブルクリックしてください。

2 TeraStationのアイコンをダブルクリックします。
TeraStationの共有フォルダ(shareフォルダを含む)が開きます。

※画面はWindows Vistaでの例です。

※Mac OSでは、デスクトップ画面にTeraStationがドライブアイコンとしてマウントされるか、Finderのサイドバーに表示されます。
※上記の手順はWindows Vista/XP/2000/Me/98SE/98、Windows Server 2003、Mac OS X10.3以降のものです。
※ Mac OS X 10.2～10.2.8、10.0.4～10.1.5をお使いの方へ
Finderを選択して、Finderのメニューから[移動]-[サーバへ接続]-[アドレス]にて下記を入力することでTeraStationのフォルダを開くことができます。
afp://（TeraStationのIPアドレス）
TeraStationのIPアドレスは、Windows搭載パソコン、またはMac OS X 10.3以降搭載Macintoshにインストールした NAS Navigator2で確認できます。
※ Mac OS 8.6～9.2をお使いの方へ
[セレクタ]-[Appleshare]-[サーバのIPアドレス]にて、TeraStationのIPアドレスを入力することでTeraStationのフォルダを開くことができます。
※Mac OSで上記の方法を試しても改善しないときは、TeraStationの設定画面で、[ディスク管理]-[ディスクチェック]-[Mac OS の固有情報を削除]を選択しディスクチェックを実行してください。
※Windows 95/NT4.0をお使いの方や、shareフォルダ以外の共有フォルダをネットワークドライブとして割り当てたい方は、付属のユーティリティCDに収録されている「TeraStation設定ガイド」をお読みください。

ここに記載された手順でもフォルダを開けないときは、物理的に接続されていない、正常にTeraStationが認識されていない可能性があります。LANケーブルを接続し直し、パソコンおよびTeraStationを再起動してください。

停電発生時や電源がONの状態のままACケーブルを取り外すと、TeraStationのファームウェアが破損し、共有フォルダが開かなくなってしまうことあります(NAS Navigator2では検索できるがフォルダを開けない)。このようなときは、弊社ホームページ(buffalo.jp)から最新のファームウェアをダウンロードし、アップデートしてください。